

学校不祥事根絶に向けて

高崎学園つくば市立高崎中学校長 井橋 憲一

教職員による不祥事は、学校教育への信頼を著しく低下させる原因となっており、なんとしても根絶しなければなりません。そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

1 不祥事根絶に向けた職員による校内研修を定期的実施しています。

体罰、わいせつ、学校徴集金の取扱い、飲酒運転、個人情報取扱い、交通違反・事故等、これらの各事案について、校内研修会でグループ討議やロールプレイング等工夫を取り入れながら具体的な防止策を相互に提案するなどの取組を実施しています。研修を通して当事者意識をもち、常に自分ごととして捉えて研修に臨むこととしています。これら校内研修については、毎月位置付けて計画的に実践しています。

2 不祥事ごとにチェックリストを作成し、職員が定期的に点検をしています。

不祥事の原因は何か。また、自分の行動や意識に問題は無いか等を明確に把握する必要があります。これらを職員が自分自身でチェックし自己啓発をすることが重要であります。そのためチェックリストを作成し、定期的に点検をしています。

3 不祥事関連の通知文や記事等を利用し様々な事例を職員全体で共有しています。

不祥事の内容と対象職員の処分内容等について県教委や市教委からの通知文や記事等から、それを職員が自分自身や自校の問題に置き換えて考え、具体的な防止策を職員会議や研修会で考え話し合っています。

4 管理職による職員との個人面談を重視し、悩み等の解決のための支援を行っています。

職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の遠因にならないよう、管理職が人事評価の面談や日頃の面談を通して、解決法を助言し相談にのるなど、きめ細かに職員の支援をしています。また、悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しの良い職場をつくって参ります。

本校職場全体で協調し、今後も全職員が一丸となって不祥事根絶に取り組めます。また、自分の学校から不祥事が起きないよう職員一人一人が更に自覚と努力をして参ります。